



第17号
発行所
〒770-0001
鳥取県鳥取市
東日赤坂

平成28年3月26日
鳥取県鳥取市
東日赤坂

あれから五年

高橋敏彦

二〇一一年に起きた東日本大震災は、三陸沖を震源とする日本周辺では観測史上最大の地震。各地に激しい揺れと太平洋沿岸に大津波が押し寄せ、多くの犠牲者と建物流失がもたらした。

又、津波により、福島第一原発では、メルトダウンによる放射性物質の拡散など、甚大な被害をもたらしました。

あれから五年、復興も思うように進まず、まだ仮設住宅で不自由な生活を送っている人が大勢います。

今、30年に70%の確率で起きると云われている首都直下型地震では、幸いにして用賀地区では津波の心配はありませんが、二十年前の阪神淡路大震災と同じような、都市型の災害が想定されます。

同時多発的な火災、家屋や高速道路の倒壊、ライフラインの寸断などを警戒する必要があります。



18歳からの選挙権

高橋敏彦

投票所の立ち会いをしていて、最近特に若い人の政治離れが進んでいるように感じられます。

この夏の参議院選挙から18歳以上が選挙権をもつ事は、若い人に政治に関心をもってもらう良い機会だと思っています。

諸外国での選挙制度はどんなものか等もよく調べ、学び、国民の意見を大切にする民主主義の本来的意味をよく理解した上での貴重な一票を投じてもらいたいと思います。

若い世代の参加で投票率を上げ、又新しい意見をどんどん盛り入れ住み易い世の中になるよう期待しています。

春風

石井正子

私達民生委員は、さまざまな相談（福祉サービス利用、高齢者の見守り、児童虐待、子育て、その他日常生活に関する事等）を受けて解決に向け支援し、行政へのパイプ役として活動しています。

又、社会福祉協議会や、あんしんすこやかセンター等との研修、講演、事業等への参加もしています。

月一度の定例会を開いて全民生委員が集まり、必要な情報の提供や報告を行なっています。

今後、地域の皆様と協力して活動して行きたいと思えますので、よろしくお願ひ致します。

日赤奉仕団に因りて

市川純子

私は日赤奉仕団のお手伝いを始めて六年になります。年三回の募金活動が一番大変です。各家庭を軒一軒訪問し募金をお願いします。

最近、皆様の多様な考えも有り、募金がとて難しいなっております。

昨今は異常気象により、各地で大変な被害が出ています。

その様な被災地で、私達が苦勞して集めた募金が、少しでも役にたてば嬉しいです。今後とも頑張り続けていくつもりです。

又、災害時には、地域の皆様と一緒に協力し、お手伝いをして行きたいと思っております。

春風ととも

三子玉川分室の

用賀出張所地区は、区内で最も大きな面積4.5kmを有します。

現在の二子玉川分室は、区民の利便性向上のため、昭和59年に玉川高島屋本館に二子玉川区民連絡所が開設されて以来、瀬田・玉川地域の身近な窓口として、二子玉川ライズで業務を行なっています。

今後、防災機能の強化、地域包括ケアの展開に取り組みため、出張所地区を分割し、平成31年度中に新たな出張所として開設する予定です。詳細が決まりましたら、随時お知らせしていきます。

（用賀まちづくり、防災担当）

木洩れ日

飯田恭次

三月十一日、あの東日本大震災から早五年、地震、津波、原発事故の傷跡は未だ大きく残っています。

原発の再稼働に対しては私たちは次の世代への結果責任を充分考えておかなければなりません。

平成の世も二十八年、昭和の時代を太平洋戦争と高度経済成長で表すとすれば平成時代は阪神淡路と東日本と云う二つの大震災に国境を超えた気象変動となるのでしうか。科学技術が如何に進んでも、私たちは自然の恵みの中で日々を送っている事を忘れてはならないと思います。

今夏の参議院選から選挙権年齢が引き下げ満十八歳以上の青年達が加わります。少子高齢化が年毎に進み世代間格差社会を迎える二十二年後の為には若者の積極的政治参加が必要です。

新年度より、いよ／＼地域包括ケアシステムの世田谷全区展開、一番身近な生活圏で誰もが安心して暮らし続けられる仕組み作りですが、使家族、近隣関係の疎遠化が進む今、助け合いの支え合いの、町・づくりには私たちは当事者意識を持って取り組むたいものです。

三月から四月は年度変わり、別れと出会いの季節、そして春風と共に町は花から新緑へと衣替え...

郷土紹介

大山道のあしあと(十)

平田良孝

明治新政府による廃藩置県、太陽暦採用、学制頒布と続く中で明治五年九月、新橋→横浜間の鉄道が開通します。文明開化の象徴として陸蒸気とも呼ばれ、明治七年には大阪→神戸間も開通しました。

その後、鉄道網は年を追って広がり、明治二十年夏東海道本線は国府津まで伸び、同二十二年、松田、山北、御殿場経由で沼津、静岡、名古屋、大阪へと開通します。当時、新橋神戸間は直通運転で約二十時間しかかったとの事です。

鉄道の開通により、相模の大山詣でも東海道本線の利用が始まります。人々は東海道線で平塚まで行き、そこから徒歩や人力車で伊勢原へと向うルートです。

然し、赤坂見附から青山、渋谷、三軒茶屋、二子の渡し経由の大山道は明治時代を迎えても夏の山開きの期間や雨乞い祈願の折、大いに利用されました。

この大山道に鉄道が開通するのは明治四十年、渋谷→玉川間の玉川電気鉄道です。大正十四年には二子橋も完成、昭和二年、玉電は溝の口迄伸び、同時期に開通した南武線、小田急線を利用した大山参りが始まります。

そして、永い間親しまれて来た大山道はその歴史的役割を終えます。



ベトナムとがみはら

吉川昌吉 利岡真理

私の故郷は神奈川県相模原市です。面積は328km²、世田谷区の約五倍です。人口約72万人は横浜、川崎に次いで神奈川県内第三位です。二〇〇七年、旧津久井郡との合併を経て二〇一〇年に政令指定都市になりました。

相模原はこれといったメジャーな観光名所も大きな特徴があるわけでもありません。強いて挙げるとすれば東海大相模原校でしょう。甲子園は春九回、夏十回出場。優勝回数廿二回、夏二回の優勝です。

近年ベッドタウン化が加速し、マンションや商業施設が増えています。

わが故郷

一方、駅から離れた地域は自然に囲まれているなど同じ市でも全く異なる地域性を持っています。

私が産まれ育ったのは小田急沿線のちよつと都市化した所です。その辺りの地元あるあるを紹介します。

〇買い物や遊びに行くのはだいたい町田。

〇西田を神奈川県扱いするのはお約束。

〇米軍の飛行機訓練が、始まると騒音でテレビの音が聞こえずイヤとする。

〇自慢できるものはないと言いつつ、やはり故郷には愛着がありました。

故郷はいいものですね。

(吉川昌吉 PTA副会長)

三三三

住み慣れた地域で安心して暮らすために

用賀あんしん 竹中 綴
すてきなセンター

用賀あんしんすてきなセンターをご存知ですか？

用賀あんしんすてきなセンターは、地域の方々の総合的な相談窓口です。

主に高齢者の方の介護予防や介護保険制度に関することなどの相談を受けています。

平成27年7月からは高齢者のみならず、障がいのある方や子育て世代の方からの相談も開始になりました。



では、具体的にどのような相談ができるのか、いくつかご紹介します。

例えば、「最近足腰が弱くなった。筋トレをつけたい」「老後のことが不安...どんな準備を、どこに相談すればいいか？」

用賀あんしんすてきなセンターは、地域の方々の総合的な相談窓口です。

主に高齢者の方の介護予防や介護保険制度に関することなどの相談を受けています。

スポーツ

暮の全国交通安全運動
4月6日(水)から15日(金)

- 二子玉川
花みず木フェスティバル
4月29日(祝)
- 兵庫島公園
二子玉川公園ほか

フラワーランドの集い
5月21日(土) 22日(日)
歌田フラワーランドにて

可上用賀公園にて
4月1日(金)開園します。

表議院速記者養成所跡地が公園として整備されました。園内は桜をはじめ、四季を通して様々な花々が楽しめます。

是非お立ち寄り下さい。

(上用賀 4の32)



春風とともに梅、桜などに始まる花の季節が...。さて、今、私達をとり巻く社会環境の中で、超高齢化が速度を増して進んでいる様です。それに伴い様々な困った事に直面していらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。

今号では、困った上の相談窓口である民生委員さんや、あんしんすてきなセンターのしごとを具体的に紹介しております。

一人で、家族だけで悩みを抱え込まず、まずは出向いて何か解決の糸口を探してみてください。

よいきっかけがありますよう願っています。(折原)

